

経営比較分析表

熊本県 苓北町

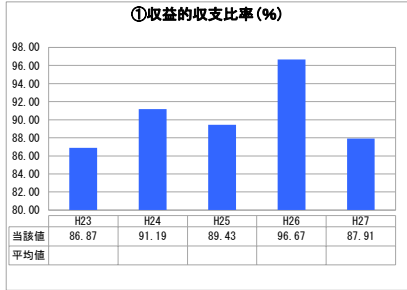
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	77.36	92.73
1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)			
2,750			

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,732	67.57	114.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,901	2.53	2,332.41

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



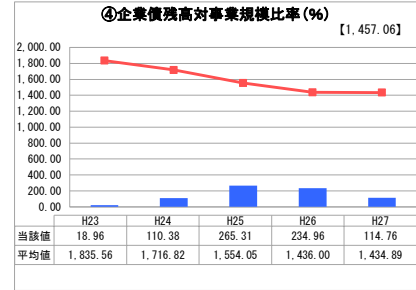
「単年度の収支」



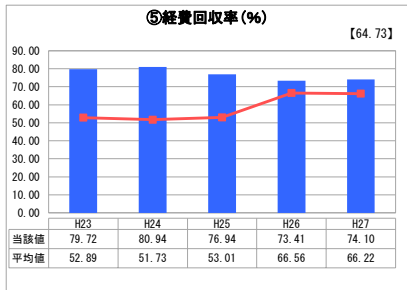
「累積欠損」



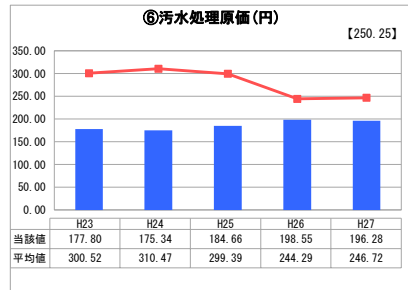
「支払能力」



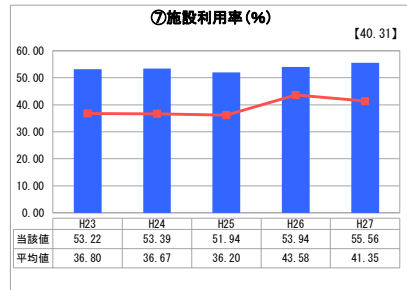
「債務残高」



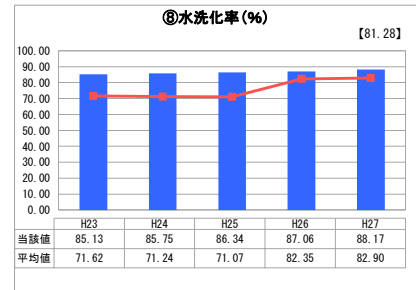
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

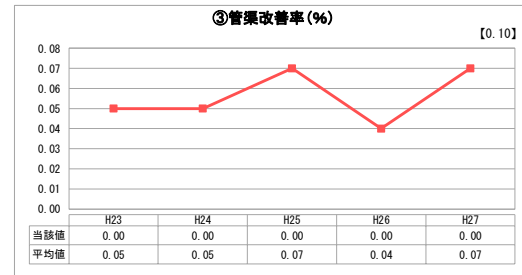
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率は人口の減少により使用料も減少しているため、一般会計繰入金に依存している。平成28年度に使用料を改定したため、今後の改善が見込まれる。
- 起債残高については、大規模な事業がないため減少傾向にある。
- 汚水処理費を使用料で賄えてはいないが、料金改定後の改善を期待したい。
- 汚水処理原価については、全国平均を下回っている。今後も維持管理費の節減に努める。
- 施設利用率は、全国平均を上回っている。
- 水洗化率は高いが、人口減少により使用料は減少傾向にあるため、さらなる接続促進に努めたい。

2. 老朽化の状況について

供用開始後16年が経過し、施設の老朽化も見られる。また、沿岸部に位置するため塩害の対策も必要とされる。今後は長寿命化計画に基づき、効率的な改築、更新を行っていく。

全体総括

下水道事業の経営の健全性は、一般会計からの繰入金に頼らざるをえない状況のため、今後は使用料の増収、適切な維持管理による経費節減に努めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

熊本県 苓北町

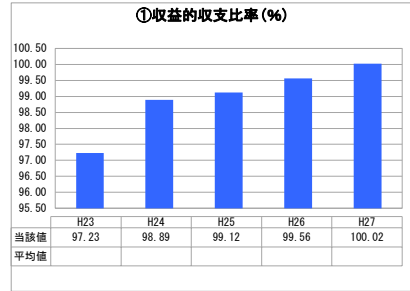
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.84	84.26	2,670

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,732	67.57	114.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
217	0.21	1,033.33

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



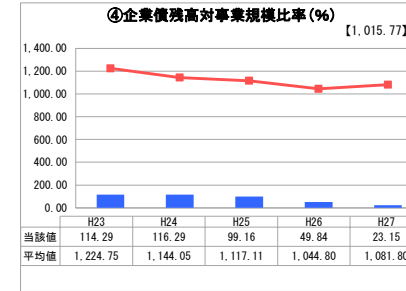
「単年度の収支」



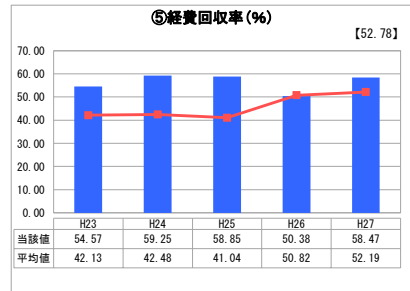
「累積欠損」



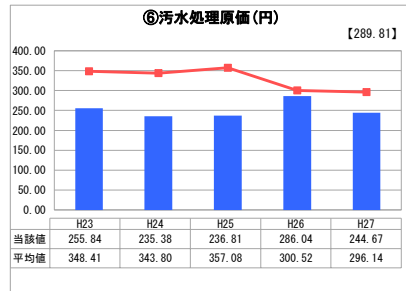
「支払能力」



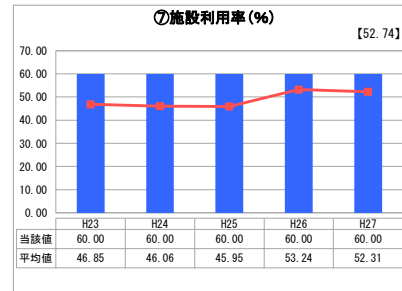
「債務残高」



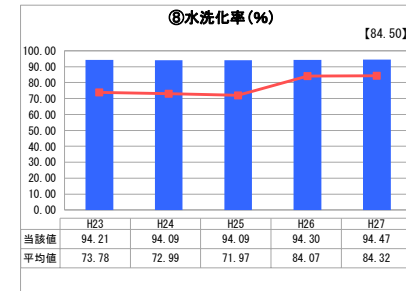
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

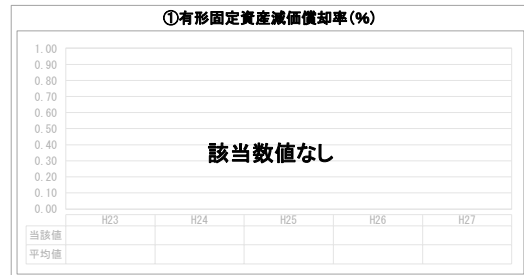


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

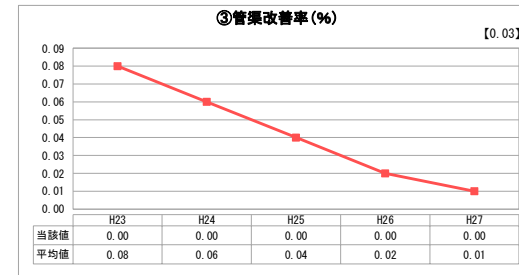
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益の収支比率：平成24年度以降、起債償還額減少により比率は上昇傾向にある。
- 企業債残高対事業規模比率：大きな修繕や設備の更新等が無い為、企業債残高は減少している。
- 経費回収率：料金収入と汚水処理原価も昨年を除くと今までと特段かわりはない。
- 汚水処理原価：全国平均及び類似団体平均値よりも下回っており、効率的に処理している。
- 施設利用率：全国平均及び類似団体平均値よりも上回っており、効率的に処理している。
- 水洗化率：全国平均及び類似団体平均値よりも約10%上回っており、今後も100%を目指し、接続率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

平成11年4月供用開始している。現在のところ目立った老朽箇所はみられないが、今後は9年以内に管渠等の老朽化が進行することが予想されることから、最適化構想に基づき、財政的な問題、現場の状況を見極めながら対応していく予定としている。

全体総括

人口減少により使用料収入の減額が見込まれるなか、今後、定期的な設備更新等に係る費用が必要となる。また財政面での厳しさが増すなか、効果的な経営戦略が必要不可欠となる。このようなことから、収入と支出のバランスに配慮しつつ準備を進めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

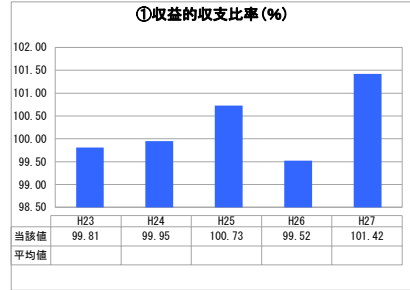
経営比較分析表

熊本県 苓北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	19.80	100.00

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,732	67.57	114.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,510	0.10	15,100.00

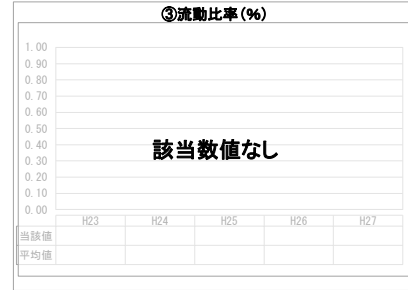
1. 経営の健全性・効率性



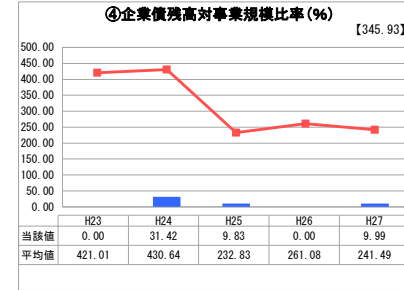
「単年度の収支」



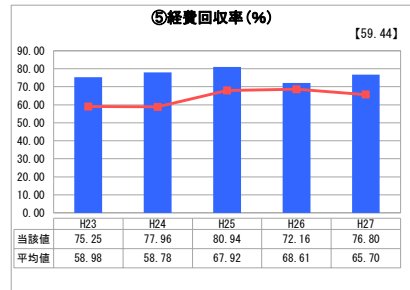
「累積欠損」



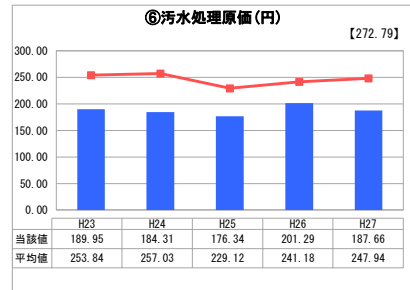
「支払能力」



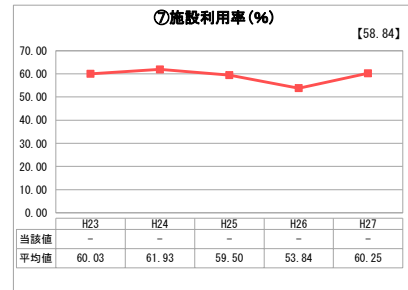
「債務残高」



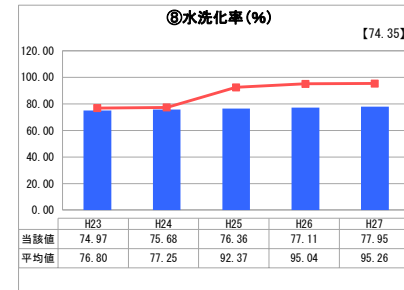
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

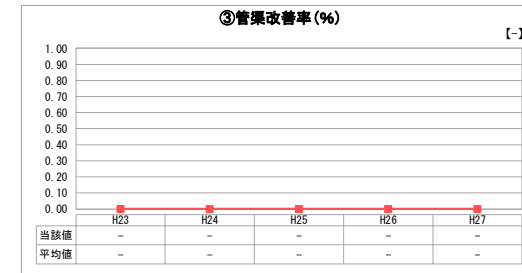
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は約100%で推移していますが、使用料金収入で回収できない経費を全額一般会計からの繰り入れに依存している状況であり、経営改善を図っていく必要があります。平成28年度から使用料金の改定を行い経営安定を図っている。

④企業債残高対事業規模比率については、企業債残高の殆どを一般会計からの繰り入れにより償還する計画であるため当該値が低い水準になっている。

⑤経費回収率は、100%に達しておらず、一般会計からの繰入金に依存している状況です。経費削減に努め健全な経営を図る必要があります。

⑥汚水処理原価は類似団体平均値より少し下回っており、今後も費用の効率性を図る必要がある。

⑧浄化槽区域が主に山間地や丘陵地となっており、高齢者世帯が多く点在するが未だくみ取りトイレや単独浄化槽を設置している状況である。合併処理浄化槽への転換を図るため、各種媒体を用いて周知する必要がある。

2. 老朽化の状況について

特定地域生活排水処理事業は、平成10年度から実施し、古い浄化槽は供用開始から20年近く経過している。浄化槽の躯体が約30年、機器設備が7年から15年程度といわれているが、倒木等による配管の破損や家屋の老朽化による躯体の破損、フrow装置や消耗品の交換は維持管理の範囲で行っている。

全体総括

公共下水道区域、農業集落排水区域以外の汚水処理を行う事業として行っているが、今後人口減少が予想されるため、料金収入の減少が懸念されるなど経営安定を図るため、平成28年度から使用料金の改定を行った。今後は引き続き適正な使用を図り、躯体や機器類の故障を未然に防ぐため維持管理費の縮減に努めるなど、更なる経営改善を図っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。